

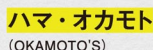


京都の絶景を背に繰り広げられた  
唯一無二の低音ライブ  
澄んだ空包む心地よい低音

る。渡月橋をはじめ、京都市内や東山の山々まで法輪寺の境内に、舞台と呼ばれる見晴台がある。一望できる絶好のシチュエーションである。愛する人たちが中心となり、老若男女が音楽の楽しさに触れ合える。ベース緑日が開催された。境内には飲食ブースに加え、京都学生広報部による企画も充実。「コト(フオット)ジェニクコーナー」では、着物×ベースでインスタ映え！というテーマで、着物とベースを身につけて撮影をしてくれる。さらに、「ピクすくい」では、ピクを取り付けたヨーヨーを見事にすくうことができれば限定ピクがもらえるのだ。また、ヤマハの楽器を使ってバンド演奏体験ができるブースや、ベースを鳴らして心の乱れを緑日なら「〇八つ」の低音「コーナー」など、ベース線りなパフォーマンスがあつた。一方、舞台上ではmテレの番組「ジャキーン」の名物「サウンドファイターズ」の「ヤキーン」の名物「サウンドファイターズ」の撮影が行なわれていた。ベースの振動を利用して紙相撲で対決するというこの競技。子供たちが手作りした紙相撲で対決を楽しむんだ。その後、いよいよ舞台上のコンサートが始まる。

最初に現われたのは、夜の本気ダンスのリズム体、マイケル(♫)と鈴鹿秋斗(♫)だ。自分たちの楽曲「ロシアのビッグマウス」(Rocking so tired) [Boo Dance Boia] をリズム体のみでプレイ。あえて上ノ下を乗せずにコンビネーションを露わにすることで躍動感が直に伝わってくる。続いて登場した根岸孝旨(♫)と屋敷豪太(♫)もリズム体のみだが、両者がヴォーカルを取るという、この日ならではの編成だ。根岸が持つロックやポップスに根ざしたベースと、屋敷のタイタムドラムが絡み合い、ビートルズを始めた名曲パーを届けにくれた。フィッシュマンズなど知られる柏原譲(♫)は、片木希依(♀/Irene)、粉川心(♀/Irene)、そしてSaku(♫)らと登場。じんわりと染み入る歌声に対し、温かく包み込むような「ロ」こといった曲がひと際目に響いた。キャンドルの火が揺れるなか、トリのEDMが登場。TOKI(♫)、大山アウヰン(♫)、大山アキト(♫)、DOJ(♫)、真城めぐみ(♫)を擁した編成で、特筆すべきはその繊細なコーラス・ワーク。エレベーター/アップライトを使い分けたTOKIのベースが空気感を作り出した。

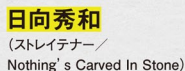
の場所で、低音を浴びる心地よさを感じたい。



**KenKen**  
(LIFE IS GROOVE /  
RIZE / Dragon Ash)

**今年もやってきた！**  
**11月11日はベースの日！**

ベースの日が今年もやってきたぞ!  
“THE BASSDAY LIVE 2018” に出演する  
ベーシストからのコメントを紹介しよう!



**TOKIE**  
(LOSALIOS /  
HEA / ACE OF SPADES)

**草刈愛美**  
(サカナクション)

ベースを主役にここまで広がるとは驚きです。こんなに可能性がある楽器なんですね。勉強になります。亀田さん、KenKen、ハマくんをはじめ、ベースヒーローがいる時代に生きられて幸運です……。良かった。ベースやってて。



人と場所と  
ベースを繋いだ  
京都学生広報部

ベース緑日、の会場である法輪寺は和やかな空間となっていた。着付けをして野点傘をうしろにベースと記念写真を撮るフォトジェニック・ベースと子供に大人気だったヨーヨー釣り(限定・ヒック付き)など、老若男女が楽しんでたのだが、その背景には京都の大学生たちが集まって活動する団体、京都学生広報部の存在があった。

京都学生広報部はネットメディア「コトカレ」の運営もしており、多様な企画を発信している。今回、イベント協力に白刃の矢が立った経緯について、リーダーを務める池田あかねさんはこう語る。以前参加したイベントからできた繋がりが、今回の緑日に結びつきました。ご縁に感謝しています。

▶このレコードを聴いて、これだったら俺でもベースできるかなと思った。カッコいいのはもちろん、曲もいい。ベース単体で聴くことはないけれど。



お気に入りの1枚  
「L.A.M.F.」  
ジョニー・サンダース &  
ザ・ハートブレイカーズ



お気に入りの1枚  
「メタル・ボックス  
(セカンド・エディション)」  
中尾憲太郎  
パブリック・イメージ・リミテッド

▶17歳のときに触れたアブストラクトなベース・ラインは今までに。巨大でスローなモンスター。“ベース・リフのカッコいい曲”はたくさんあるけど、アルバム単位でベースがカッコいいと言われればコレ。音を聴いてベースの形や弾き方が見えてくるようなアルバムが好きですね。



ウエノコウジ  
(the HIATUS)



◀亀田誠治さんとカースケさん(河村智康)の無敵感が無限に出ていまして、未聴でしたらもったいないと思います。なんでもこんなにカッコいいんでしょうか。矢野さんの歌はもちろん、どこをとっても代わりのきかない、その人が演奏していることの意味と魅力が溢れています。

イガラシ  
(ヒトリエ)



お気に入りの1枚  
「そばのかす」  
矢野まき



お気に入りの1枚  
「フリー」  
マーカス・ミラー

◀僕がマーカスから学んだのは、“自分の音を持つ”ということです。僕が夢中になったベースはみんな自分の音を持っています、素晴らしいヴォーカリストの声のように。

## プロ・ベーシストが選ぶ “俺の私のベース名盤”

50人ものプロ・ベーシストに回答をもらったベーマガ11月号の企画のなかから、選りすぐりの4人の回答を紹介しよう。

出展：ベース・マガジン 2018年11月号「ベースの日」はこれだ！  
50人のプロ・ベーシストが選ぶ「俺の私のベース名盤」



中尾憲太郎  
(Crypt City / etc.)



亀田誠治

### COLUMN FOR BASSIST

#### YouTuberとしてのたなしん



たなしん(グッドモーニングアメリカ)のYouTubeチャンネル「タナプロ」で、ベーシストの表現方法はさまざまと気づく。著名ベーシストに彼らの楽曲を演奏してみせたり、ベース緑日に突撃するなど、行動力の高さが感じられた。彼自身は技術に関して自信はないと言っていたが、このやり方はひとつの個性だ。ネット社会でスタイルが多様化するなかで発信方法を見つめ直すヒントが隠されているかも。

#### ギターとベースの共振・共感



11月10日発売の「ヤング・ギター」誌が、「ヤング・ベース」と題してベースの大特集を展開する。ベースに対して簡単、地味といった偏見を持っているギタリストは少なくない。でもそれじゃ良い音楽を作るのは到底ムリ。ギタリストがベースを理解しなければ、アンサンブルは機能しないからだ。今回の特集をきっかけに、ギタリストとベーシストの共鳴・共感も進むはず。そうすれば音楽のレベルは絶対アップするだろう。

#### 不朽を知り、新たを作る



古い正義ではないが、語り継がれるものは知っておくべき。細野晴臣参加の小坂忠「ほろろ」は文句なしの名盤だ。近年行われている100年後も聴き続けてほしいアルバムを一夜限り再現する公演の第2弾として、11月26日に東京国際フォーラムにて小坂忠くろうろ>が開催。小原礼、後藤次利、根岸孝幸、そして細野晴臣と国内屈指のベーシストが揃う。若者は不朽を知り、新たを作ろう。



“コトカレ”では、ベースの日になんだ特別企画が公開中。ベース緑日にも出演したマイケル(夜の本気ダンス)へのインタビュー、ベース緑日の会場として選ばれた法輪寺の魅力に迫るレポート、未経験の大学生がイチからベースを弾き始める企画まで、フレッシュな満点の記事が満載だ！

<https://kotocollege.jp>



感動を・ともに・創る

## Yamaha BB Players



亀田誠治



武田祐介 (RADWIMPS)



長谷川カオナシ(クリープハイフ)



安井英人 (BIGMAMA)



稲田祐典 (KANA-BOON)



安藤洋平



伊和幸介 (Irie)



石岡聖



尾村直樹 (The Uranus)



OKAPY



キリンジ (KIRINJI)



白山治晴 (Brian the Sun)



高橋未暮 (CeStrial / 真実水口)



中尾憲太郎



NODOKA (たんこがちゃん)



LUNSCANDAL (LUNSCANDAL)



野俣信弘 (rie&partymonster)



森本夏子 (bonobos)



ヤマハエレキベース製品情報

株式会社ヤマハミュージックジャパン

## HAPPY BASS DAY!

The BassDay IIII

30th J-WAVE

NOV.11(SUN.), BASS ONE DAY ON J-WAVE (81.3FM)

✓ 6:00~ 9:00「SUNRISE FUNRISE」

✓ 9:00~12:00「ACROSS THE SKY」

番組がセレクトしたベースラインがかっこいい曲をオンエア

✓13:00~16:54「SAISON CARD TOKIO HOT 100」

チャート入りしている楽曲をベーシストの名前とともに紹介!

## FM COCOLO Happy Bass Day!

「ベースの日」のFM COCOLOでは各番組でベースの能力満載の企画を展開、個性溢れるミュージシャンたちが競々登場! 詳しくは、公式サイトをチェック!

11.11  
SUN



小原礼



加地比徳



ハム・オカモト (OKAMOTO'S)



ジョンB (ウルフルズ)



東京スカパラダイス  
オーケストラ



フジフレックス  
クワartet



cocolo.jp